

★ちば県議会だより

会派別議員数

自民党	51人
民進・立憲	19人
公明党	8人
共産党	5人
市民ネット・社民・無所属	4人
千翔会	2人
千葉県民の声	1人
いんば無所属の会	1人
無所属	1人

定数95人 現員92人
(平成30年4月18日現在)



県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉県中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043 (223) 2523 FAX 043 (222) 4073 千葉県議会 検索

千葉県議会 児童・生徒表彰

学芸及びスポーツの国際大会または全国大会で、最優秀の成績をおさめた児童・生徒107名、44団体が表彰されました。(受賞者一覧を3面に掲載)



(上)小高伸太議長から代表生徒へ表彰状を授与
(右)表彰された児童・生徒



二月定例会議会の あらまし

二月定例会議会は、二月十五日に召集され、三月十五日までの二十九日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、平成三十年度千葉県一般会計予算等の議案九十四件、報告二件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

二月二十一日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十二名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災対策、福祉、経済、教育等について活発な議論が展開されました。

二月二十八日には、議案二件が追加上程され、知事から提案理由説明がありました。

さらに、三月二日から三日間にわたり、予算委員会が開催されました。各常任委員会は、三月七日から四日間にわたり開催され、付託された議案・請願について、具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、各常任委員会委員長(副委員長)の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決されました。

その後、追加上程された人事案件四件が同意されました。

また、上程された議員発議案十八件のうち、条例一件、決議一件及び意見書一件を可決し、今定例会議会に付議されたすべての案件の審議を終了しました。

代表質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 2月 検索

二月二十一日(水)



自民党
木下 敬二 議員
(南房総市・安房郡)

- 知事の政治姿勢／海外トップセールス
- 千葉県津波浸水予測システム
- 千葉県高齢者保健福祉計画
- 保育所等の整備
- 有害鳥獣対策
- 県内の道路整備



民進・立憲
中田 学 議員
(柏市)

- 職員の不祥事・官製談合
- 避難行動要支援者への対応
- 災害時の保健・医療・福祉
- 建設業における労働環境整備
- 河川の事故防止策
- 学校給食費の公会計化

二月二十二日(木)



公明党
阿部 俊昭 議員
(柏市)

- 消防団員確保に向けて
- 障がい者支援／地域生活支援拠点ほか
- 県循環器病センターのあり方
- 県立高校の環境整備(トイレの洋式化ほか)
- 教職員の研修受講履歴のデータ化
- ビッグデータの活用による交通事故防止



共産党
加藤 英雄 議員
(柏市)

- 二〇一八年度予算案における歳出の増減など組み替え
- 官製談合事件の再発防止
- 児童相談所の体制強化
- 教育問題／私学の学費負担軽減、県立学校改革推進プラン・第四次実施プログラム案
- 大堀川(柏市)の安全対策

二月二十三日(金)



市民ネット・社民・無所属
ふじしろ 政夫 議員
(鎌ヶ谷市)

- 日米地位協定の不平等性と改定の必要性
- TPP11及びEPAの影響と県の対応
- 「種子法」廃止後の県の対応
- 東千葉メディカルセンター・県循環器病センターの課題
- 非正規の公務員と会計年度任用職員制度
- 小金牧・佐倉牧(油田牧)・嶺岡牧の文化的価値

代表質問から

官製談合

問 総合的なコンプライアンス推進策の実施など、十二月議会での提案に対する検討状況はどうか。

答 再発防止に向け、職員が遵守すべき事項等をより明確にし、職員倫理に関する条例や、違反した場合の処分基準を制定していきたい。

また、

・所属長等の意識づけ強化のための研修や推進体制の見直し
・職員の関与が疑われる情報が寄せられた際の対応方法の見直し

など、千葉県コンプライアンス委員会議で得た意見を踏まえ、早急に、具体的な対策を検討していく。

トップセールス

問 今回の成果を今後の農水産物輸出や観光誘致などに、どうつなげていくのか。

答 企業・団体からなる各ミッシン・団が、現地の関係者と直接顔を合わせ、本県の強みや魅力をアピールするとともに、ニーズなどを肌で感じ、今後の事業展開に向けた足がかりをつかむことができたと考えている。

県は、これまで築いてきた友好関係を前進させるため、継続的なフォローアップを行い、県内事業者に対し、さまざまな支援策を提供するなど、県産農水産

物の輸出や観光客の誘致などに向けた動きを、後押ししていく。

避難支援

問 避難行動要支援者への、今後の対応はどうか。

答 高齢者や障害者など、自力での避難が困難な人の安否確認や、避難支援を円滑に行うためには、市町村が避難行動要支援者名簿を作成し、平常時から消防団、自主防災組織などと情報を共有するとともに、個々の要支援者ごとに、支援を行う者や避難経路などを定めた個別計画を策定しておくことが重要である。

県は、名簿の作成が完了していない五市に対し、速やかに名簿を作成し、地域防災計画に位置づけるよう働きかけている。

また、既に名簿を作成している市町村に対して、ヒアリングの実施などにより、県の避難支援の手引などを活用し、関係者間で名簿情報を共有するとともに、個別計画の策定を進めるよう促している。

高齢者福祉計画

問 介護人材の確保・定着にどのように取り組むのか。

答 県では、地域医療介護総合確保基金を活用し、介護分野への新規就業や離職者の再就業の促進、事業者と求職者のマッチング機能の強化などに取り組んでいる。

平成三十年度は新たに、在留資格「介護」が創設されたこと等に伴い、今後増加が見込まれる外国人介護人材の円滑な受け入れのための事業者説明会や語学研修会

・中高年者を対象として、介護の職場体験から介護職員初任者研修の受講、事業者とのマッチングまでをパッケージで提供する事業

など、多様な人材の活用を推進し、団塊の世代が後期高齢者となる平成三十七年を見据え、市町村事業者、関係団体と一層の連携を図りながら、介護人材の確保・定着に総合的に取り組んでいく。

有害鳥獣

問 被害防止に向け、どのように取り組むのか。

答 有害鳥獣の被害防止対策を強化するには、住民を中心とした多様な主体による地域ぐるみでの取り組み強化が必要である。そこで、平成三十年度から新たに、集落単位で防護・捕獲・環境管理に総合的に取り組む「イノシシ等野生獣対策モデル事業」を実施するなど、地域ぐるみでの取り組みを推進していく。

また、防護柵設置に対する支援に加え、耕作放棄地等の草木を伐採し、イノシシのすみかの撲滅を目指す取り組みを支援する。さらに、繁殖抑制などの画期的な手法の開発などについて、国に対し、引き続き、要望をしていく。

このほか、捕獲個体の処理に係る先進事例等の調査を進めるとともに、その成果を踏まえ、対策の担い手である市町村とも意見交換をしながら、従事者の負担軽減に取り組んでいく。

T P P

問 国の試算では、政府の対策をとった上で生産量の減少はゼロとしているが、本県も、国が示す対策をとれば生産量への影響はゼロと考えているのか。

答 本県農林水産業への影響額は、輸出入や国内流通の実態を把握している国の試算方法に準じて試算した。

国の試算は、体質強化対策と経営安定対策を講じることで、農林水産業の再生産を確保し、国内生産量が維持されるとしている。

道路

問 高速道路ネットワークの整備状況を踏まえ、県内の道路整備にどのように取り組むのか。

答 高速道路ネットワークの整備効果を県内に広く波及させるためには、高速道路から地域へのアクセス道路の整備を一層加速させる必要がある。

平成三十年六月までに開通する外環道と成田空港を最短で結ぶ北千葉道路は、国施行区間のうち三・八キロメートルが平成三十年度に開通する予定であり、市川市から船橋市の小室インターチェンジ間は、平成三十年一月から都市計画・環境アクセスメントの手続を進め、早期事業化を目指している。

また、圏央道にアクセスする地域高規格道路である銚子連絡

道路、長生グリーンラインの事業中の区間の整備推進と、これに続く新たな区間の事業化に向けた環境調査に着手する。

さらに、地域に密着した道路の整備も、地域の活性化や防災力の強化を図る上で、強力に推進する必要があるため、平成三十年度から新たに、三十カ所に事業着手し、平成三十二年までに五十二カ所の供用開始を目指すなど計画的に道路整備に取り組んでいく。

定時制高校

問 県立学校改革推進プランによる定時制高校の配置の適正化は、何を基準にしているのか。

答 県立学校改革推進プランでは、生徒・保護者及び地域のニーズ等を考慮し、定時制高校の配置の適正化を図るとしている。

近年、在籍者の多様化が進み、勤労青年のための教育機関としてだけでなく、多様な学びのニーズへの受け皿としての役割が増す一方、定員割れが続き効果的な教育を行う上での課題も生じている。

これらを踏まえ、志願倍率や在学生生徒数を総合的に勘案し、一定の規模の生徒数を確保し、キャリア教育の充実や、進学も視野に入れ、興味・関心に応じた選択科目の設置を可能とすることなどで、学校の学習環境の充実を図るため県立船橋高校と県立行徳高校の定時制課程の統合及び総合学科への改編を提案した。

交通事故

問 ビッグデータの活用は、どのような効果が期待できるのか。

答 急ブレーキ情報を分析したデータと交通事故発生箇所を地図情報システムに重ね合わせることで、いまだ事故の発生していない潜在的な危険箇所を抽出できることから、同箇所において、急ブレーキ多発の原因を究明するなど、調査、分析を行い状況に応じた交通安全対策に生かすことができると考えている。

可決・同意された議案

- ◆平成三十年度予算関係(二十四件)
 - ▽一般会計
 - ▽特別会計(二十三件)
 - ◆平成二十九年補正予算関係(二十二件)
 - ▽一般会計
 - ▽特別会計(二十二件)
 - ◆条例の一部改正(二十七件)
 - ▽千葉県職員定数条例
 - ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
 - ▽住民基本台帳法に基づく本人確認情報の利用及び提供に関する条例
 - ▽千葉県立都市公園条例等
 - ▽千葉県個人情報保護条例及び千葉県情報公開条例
 - ▽行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例
 - ▽千葉県防災基本条例
 - ▽千葉県生涯大学校設置管理条例
 - ▽千葉県袖ヶ浦福祉センターの設置及び管理に関する条例等
 - ▽千葉県国民健康保険財政安定化基金条例及び千葉県行政組織条例
 - ▽千葉県医師修学資金貸付条例
 - ▽病院及び療養病床を有する診療所の人員及び施設等に関する基準を定める条例
 - ▽千葉県青少年健全育成条例
 - ▽県営土地改良事業分担金等徴収条例
 - ▽国営土地改良事業負担金徴収条例
- ◆条例の廃止(五件)
 - ▽千葉県農村地域工業等導入地区県税課税免除条例
 - ▽千葉県乳児院の設置及び管理に関する条例
 - ▽指定住宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例
 - ▽千葉県行徳野鳥観察舎設置管理条例
 - ◆その他(二十一件)
 - ▽契約の締結(六件)
 - ▽契約の変更
 - ▽財産の処分(二件)
 - ▽千葉県道路公社の定款の一部変更
 - ▽訴えの提起
 - ▽権利の放棄(四件)
 - ▽市町村が負担すべき金額
 - ▽包括外部監査契約の締結
 - ▽教育委員会教育長の任命同意
 - ▽人事委員会委員の選任同意
 - ▽監査委員の選任同意
 - ▽公安委員会委員の任命同意
 - ◆議員提出
 - ▽千葉県議会情報公開条例
 - ▽条例の一部改正
 - ◆可決された決議・意見書
 - ▽二〇二五年国際博覧会の大阪・関西への誘致に関する決議
 - ▽参議院議員選挙制度の抜本的見直しを求める意見書

各常任委員会の
主な質疑から

総務防災常任委員会

問 千葉県津波浸水予測システムの詳細な津波情報は、どのような場面での活用を期待しているのか。

答 本システムは、海岸ごとに津波の高さ・到達時間や浸水状況を予測することから、安全な避難場所、第二波・第三波の津波の状況、消防団員が現場で安全に活動ができる時間などについて、市町村が判断をする場面での活用を期待している。

総合企画水道常任委員会

問 成田空港周辺の地域づくりに関する「基本プラン(案)」に基づく事業費と予算はどうなるのか。

また、財源はどのように確保するのか。

答 事業費と予算については「(仮称)実施プラン」の作成段階で検討していく。

また、成田空港周辺対策交付金などを含め、必要な財源を確保するよう努めていく。

健康福祉常任委員会

問 生活困窮者等自立支援事業予算が、約一千万円から約三千三百万円へ大幅に増額された理由は何か。

答 本事業のうち、生活困窮世帯等の子供たちを対象とした「子どもの学習支援事業」について、県が実施主体となっている町村部での事業実施を、平成三十年度は民間事業者等へ委託し、平成二十九年年度の三町村から県内全十七町村に拡大するためである。

環境生活警察常任委員会

問 死亡事故が発生して以来、頻繁に報道で取り上げられている「あおり運転」を抑制するため、どのように取り組んでいるのか。

答 交通安全キャンペーン等により県民の意識の向上に努めるとともに、違反の実態や取り締まり要望を踏まえ、交通事故発生のおそれが高い場所を中心に取り締まりを強化している。

商工労働企業常任委員会

問 第四次ちば中小企業元気戦略で充実を図った施策を、企業で活用してもらうため、どのように周知していくのか。

答 商工会や商工会議所などの支援機関とともに、企業に身近な税理士などを通じて情報を提供する。

また、インターネットや県民だよりなどを活用し、わかりやすい視点で広報していく。

農林水産常任委員会

問 知事トップセールスを実施した、タイ王国への県産農水産物の輸出拡大に向け、どのように進めていくのか。

答 輸出に取り組む生産者団体が行う試食会や、商談会への出席等を支援し、また、高品質なサバ・イワシ等の輸出に向け、高度衛生管理型市場、製氷・貯氷施設などの一体的な整備を図る。

県土整備常任委員会

問 道路予算を大幅にふやしているが、内容はどのようなものか。

答 道路ネットワーク事業として、道路や交差点の改良及び歩道整備などに着手し、約五百七十七億円を計上した。

今後、平成三十二年度までに五十二カ所の道路供用開始を目指していく。

文教常任委員会

問 教職員の負担軽減に関連して、県内公立小・中学校の閉庁日の状況はどうか。

答 学校閉庁日には完全に無人化する形態から、例えば、事務室だけをあけておくなど、さまざまな形態がある。

県内公立小・中学校の閉庁日は、各市町村教育委員会が判断をするが、県教育委員会では確認したところ、二十五市町で長期休業中に閉庁日を設定している。



Table with 3 columns: School/Organization Name, Name, and Remarks. Lists award winners for various sports and activities across different schools and organizations in Chiba Prefecture.

※3月28日に新たに3個人、1団体が表彰されました。

Table with 3 columns: School/Organization Name, Name, and Remarks. Lists award winners for various sports and activities across different schools and organizations in Chiba Prefecture.

Table with 3 columns: School/Organization Name, Name, and Remarks. Lists award winners for various sports and activities across different schools and organizations in Chiba Prefecture.

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。千葉県議会 質問項目 2月 検索

二月二十三日(金)



自民党 吉本 充 議員 (富津市)

ノリ不作の原因究明と対応策
新県立図書館と博物館のあり方
不登校支援とフリースクール
浜金谷港の災害復旧と強化対策



自民党 三沢 智 議員 (館山市)

クルーズ船受け入れに向けた取り組み
地域の公共交通施策
館山鴨川道路
タンDEM自転車



自民党 實川 隆 議員 (山武郡)

成田空港
医療福祉問題
農業問題
圏央道



自民党 森 岳 議員 (木更津市)

農林水産業
着地型観光
医療的ケアの必要な障害児・者
等への支援
特別支援学校への通学



公明党 仲村 秀明 議員 (船橋市)

ヘルプマーク
国民健康保険
がん教育
ちばGAP



民進・立憲 野田 剛彦 議員 (船橋市)

乳がん・小児がん等への支援策
千葉県地震防災戦略
安全・安心なまちづくり
自転車事故防止



自民党 瀧田 敏幸 議員 (印西市)

全国消防操法大会の千葉県開催
指定廃棄物
手賀沼の土地改良事業
道路問題



千翔会 谷田川 充丈 議員 (香取市)

農業問題
県立病院
身体障害者補助犬
東京オリンピック・パラリンピック



自民党 松本 浩明 議員 (山武市)

ICTの活用と道路問題
イチゴの振興とジャンボトナリ
オリンピック・パラリンピック教育
県立高等学校の入試改善



民進・立憲 横堀 喜一郎 議員 (茂原市)

医師確保の取り組み
県循環器病センターの機能維持
一宮川水系の水害対策
戸建て木造住宅の耐震強化



自民党 伊藤 和男 議員 (香取市)

知事の政治姿勢
農業問題
医療・福祉問題
県立病院



自民党 江野澤 吉克 議員 (袖ヶ浦市)

クジラによる海洋生態系への影響
障害者スポーツの振興
陸稲栽培
老朽化して危険な建築物



自民党 五十嵐 博文 議員 (富里市)

農業
養豚振興
地域防災力の強化
道路ネットワークの強化



自民党 茂呂 剛 議員 (八千代市)

東葉高速鉄道
超高齢社会に対応した買物難民
等への対策
印旛沼流域がわまちづくり計画
道路問題



民進・立憲 天野 行雄 議員 (千葉市稲毛区)

電力安定供給
再エネの推進と条件整備
太陽光発電の課題と対策
県立保健医療大学



自民党 阿井 伸也 議員 (大網白里市)

千葉県の新たな将来構想(フジエクト)
将来の常備消防(市町村消防)のあり方
県内医療問題と教育環境の格差
策「浸食対策」



自民党 阿部 絃一 議員 (千葉市稲毛区)

更生保護
医師の確保対策
健康づくり
小規模企業振興

予算委員会

3月2日(金)、5日(月)、6日(火)の3日間にわたり、予算委員会が開催されました。本委員会では、平成30年度予算議案について、横断的・多角的に審査が行われ、活発な議論が展開されました。



平成30年6月定例県議会 会期及び議事・委員会予定(素案)

Table with 4 columns: 月日, 議事・委員会予定, 開議予定時間. Rows include dates from 6月13日(水) to 6月6日(金).

TV…チバテレビで生放送(手話通訳つき)されます。 ※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会でご協議されます。

2月定例県議会 知事あいさつ

今回提案いたしました案件は、平成30年度の当初予算案、平成29年度の補正予算案、各種条例案及びその他附帯議案の94議案のほか、報告2件です。

平成30年度当初予算案は、新たな総合計画の策定後、初めての通年予算であることから、計画に掲げた施策の着実な推進を図るため、子ども・子育て世代への支援や、社会基盤の整備などをはじめ、各分野にわたり、「くらし満足度日本一」の実現に向けた事業を計上しています。

また、「県有建物長寿命化計画」に基づく施設の老朽化対策を進めるほか、「行政改革計画・財政健全化計画」を踏まえた取組を行ってまいります。

その結果、一般会計の当初予算規模は、1兆7,288億8,095万余円で、前年度と比べ0.2%の増加ですが、教職員人件費の千葉市への移譲などの特殊要因を除くと、1.8%の増加となっています。

子ども・子育て世代への支援の充実

保育の基盤整備については、保育士の給与改善のための補助について、民間保育所のある全市町村で実施できるよう、予算を増額するほか、保育士のキャリアアップ研修の対象人数を拡大し、さらに、賃貸物件を活用した保育所整備に対する補助制度を創設します。

また、子育てに関する相談などを行う「子育て世代包括支援センター」の設置への支援を行うほか、予期しない妊娠などにより、不安を抱える女性への相談事業を新たに実施します。

さらに、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの増員、不登校対策支援チームの設置、特別支援学校の過密化対策としての学校新設などを行うほか、私立学校経常費補助については、県単独の補助単価を高校・幼稚園とも前年度から1,000円ずつ引き上げます。



医療・福祉の充実

まず、障害のある方の自立と社会参加に向けた先進的なサービスを提供している「千葉リハビリテーションセンター」について、建替えに向けた調査・検討を行います。

また、医師・看護師を確保するため、修学資金の予算を増額するほか、県民の誰もが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう、在宅医療連携拠点や訪問看護ステーションの設置等への助成、歯科衛生士の就職準備金の貸付を新たに実施します。

このほか、がんセンターの新棟建設工事や、社会福祉センターの再整備に向けた基本設計、生活困窮世帯の小中学生等を対象とした学習支援、介護人材の確保対策などを実施します。

その他、主な事業として「くらしの安全・安心の確立」、「商工業の振興・雇用」、「農林水産業の振興と社会基盤づくり」、「千葉の魅力発信」、「環境・文化・スポーツ施策の推進」の概要説明がありました。

さらに、平成29年度補正予算案、各種条例案など、提案された議案の概要説明のあと、成田空港の機能強化やタイ王国でのトップセールスなど、当面する諸問題について報告がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。 千葉県議会 知事あいさつ 検索

千葉県議会 インターネット中継. Information about live streaming of the assembly on the internet.

新しく選出された県議会議員 (4月15日補欠選挙). Advertisement for the newly elected assembly member, Naohiro Nakamura.